

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	01	蓮沼地区県営畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	指標名				指標種別		成果指標		指標の概要	
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	88%	88%	88%	-	-	-	農業振興地域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合	
総合戦略	-	-	-	-	88%	88%	-				その他の指標	
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度			
根拠法令等	土地改良法		改善目標	換地業務等、県に協力し、円滑な業務推進にあたる。				改善目標	年度内に維持管理委員会を設立し、事業区域内の維持管理を徹底させる。			
事業分類	E 補助金・負担金事業		事業計画	附帯工一式：暗渠排水、安全施設等の工事 換地業務：換地計画書作成及び換地処分登記 用地補償：創設道路代金清算				事業計画	・用地補償業務：創設道路代金精算 ・維持管理委員会の設立			
執行体制	職員のみ		活動実績	附帯工一式：暗渠排水、安全施設等の工事 換地業務：換地計画書作成及び換地処分登記				上半期活動実績	-			
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。		成果	農地の区画整理・農道整備等を行い、機械利用の効率化や流通出荷体制を確保した結果、受益面積の30%以上の農地を担い手に集積することができた。				上半期成果	-			
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。		課題	事業完了後、維持管理委員会を早急に設立する必要がある。				課題	-			
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	
環境	-	-	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-			
関連性	-	-	効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-			
	-	-	総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-			
			評価	理由				H29年度の方向性	-	理由	-	

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	3,150千円	1,850千円	0千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	2,800千円	1,600千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	350千円	250千円	0千円	0千円
人件費(B)	3,120千円	5,334千円	3,053千円	
正職員	従事割合	0.40人	0.70人	0.40人
内訳	時間外勤務	30.00時間	50.00時間	30.00時間
	臨時職員等	無	無	無
事業コスト(A+B)	6,270千円	7,184千円	3,053千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	02 下手地区県営農業競争力強化基盤整備事業				指標名	事業進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	事業面積ベースの進捗率		
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
総合戦略	-	-	-	-	実績	16%	48%	-							
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-	
根拠法令等	土地改良法				改善目標	県に協力しながら, 区画整理工, 揚水機場工の円滑な事業推進にあたる。				改善目標	県に協力しながら, 区画整理工等の事業推進にあたる。				
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	区画整理工一式, 揚水機場工				事業計画	区画整理工 16ha 用水路工 2,700m				
執行体制	職員のみ				活動実績	区画整理工20ha 用地測量				上半期活動実績	-				
事業の目的	農作業の効率化や省力化を図り, 安定した農業経営が行えるようにするため				成果	年度計画のとおり, 区画整理工20haを施工した。				上半期成果	-				
事業の概要	農地の区画整理, 農道及び排水路整備, 用水機場及びパイプラインの整備等を行う。 換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。				課題	十分な地権者の理解を得て事業を進めていく必要がある。				課題	-				
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-	
評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				評価	有効性	-				H29年度の方向性	-	理由	-
	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している					効率性	-							
	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施					総合評価	-							

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	15,000千円	34,000千円	25,000千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	13,500千円	30,600千円	22,500千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	1,500千円	3,400千円	2,500千円	0千円
人件費(B)	5,452千円	6,077千円	6,104千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.70人	0.80人	0.80人
	時間外勤務	50.00時間	50.00時間	60.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	20,452千円	40,077千円	31,104千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	03	遠東地区営農畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	88%	88%	88%	-	-	-	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合				
実績	-	-	-	88%	88%	-								
総合戦略	-	-	-	H27年度				H28年度						
改善目標	-	-	-	事業完了後の換地清算業務を円滑に遂行する。				事業完了後の書類引き渡し並びに維持管理委員会の設立。						
個別計画	-	-	-	事業計画				事業計画						
根拠法令等	土地改良法			・換地清算業務一式, 登記識別情報通知の引き渡し ・維持管理組合の設立				・会計経理等関係書類の引き渡し ・維持管理委員会の設立						
事業分類	E 補助金・負担金事業			活動実績				上半期活動実績						
執行体制	職員のみ			換地清算業務一式, 登記識別情報通知の引き渡し				-						
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り, 安定した農業経営が行えるようにするため。			成果				上半期成果						
事業の概要	・農地の区画整理, 農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。			課題				課題						
ISO 14001	-	-	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性						
環境	-	-	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性						
関連性	-	-	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価						
										事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
										事業費(A)	1,850千円	0千円	0千円	0千円
										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										地方債	1,600千円	0千円	0千円	0千円
										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
										一般財源	250千円	0千円	0千円	0千円
										人件費(B)	4,692千円	1,513千円	1,513千円	
										正職員	従事割合	0.60人	0.20人	0.20人
										時間外勤務	50.00時間	10.00時間	10.00時間	
										臨時職員等	無	無	無	
										事業コスト(A+B)	6,542千円	1,513千円	1,513千円	
										H29年度当初積算根拠	-			
										H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	04 豊里南部地区県営畑地帯総合土地改良事業	指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合	
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					H30年度
戦略プラン	-	-	-	-	88%	88%	88%	-	-	-	-
総合戦略	-	-	-	-	88%	88%	-	-	-	-	-
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-
根拠法令等	土地改良法	改善目標	換地計画書の作成にあたり、県に協力する。				改善目標	測量を含む調査のため、県と地元委員会で事務委託契約を締結し登記に向けて進める。			
事業分類	C 義務的事業	事業計画	換地計画書作成(換地の確認作業を実施)				事業計画	課題や問題点を地元換地委員会と協議し、登記に向けて進める。			
執行体制	職員のみ	活動実績	調査のため、県と地元委員会で事務委託契約を締結				上半期活動実績	-			
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため	成果	事務委託契約により、登記に向けて調査が開始された。				上半期成果	-			
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。	課題	既に工事は完了しているが、換地計画未同意者がいるため法手続きが進められない状況である。登記に向け換地計画書を作成していく段階ではあるが、引き続き未同意者に同意を得られるよう働きかけ権利者会議を開催する。				課題	-			
ISO 14001 環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-	-
評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-				
	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-				
	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価	-				
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
人件費(B)	815千円	3,795千円	3,848千円								
内訳	正職員	従事割合	0.10人	0.50人	0.50人						
	時間外勤務	20.00時間	30.00時間	50.00時間							
	臨時職員等	無	無	無							
事業コスト(A+B)	815千円	3,795千円	3,848千円								
H29年度当初積算根拠	-										
H29年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

事務事業名	05 東筑波地区農村空間整備事業				指標名	事業進捗率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	全体事業の工事費ベ-スの進捗率
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-	-	-	-	実績	75%	80%	85%	90%	100%	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-		
	-	-	-	-	改善目標	工事を円滑に進めるために、事業主体である県及び地元との調整を行う。				改善目標	県との協議で、地元が要望している施工箇所や方法をできるだけ反映させ、農業施設や農村景観の保全・復元の整備を進める。					
個別計画	-				事業計画	つくば市該当事業：北条大池付帯工（設計、護岸新設工、木柵改修工）				事業計画	つくば市該当事業：北条大池付帯工、護岸工及び木柵改修工					
根拠法令等	土地改良法					活動実績	つくば市内は未実施				上半期活動実績	-				
事業分類	E 補助金・負担金事業				成果		-					上半期成果	-			
執行体制	職員のみ					課題	県と地元との協議で改修箇所は決定しているが、4市を対象としている事業なので、予算の割当がないと施工できない。				課題		-			
事業の目的	筑波山を中心とした対象4市を事業区域とし、その農村地域の農業施設や景観を整備・保全・復元することによって、美しい農村景観・文化に接する空間を創造するとともに都市と農村の交流の場を提供して、地域の活性化を図るため。				事業の進捗状況		未達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-		
事業の概要	・つくば市該当事業：ため池護岸工（北条大池） ・他市該当事業：コア施設（展示・案内）一式、農村公園整備（ポケットパーク）一式、水辺環境整備（魚道の再生）一式 全体予定事業費 1,239,900千円 負担区分 国50% 県25% 地元（4市）25%（つくば市＝地元25%×20.86%）				評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠	理由	-	
ISO 14001 関連性	環境性	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H29年度の方向性	-	理由				-
		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	06 一般単独排水路整備事業	指標名				指標種別				成果指標				指標の概要								
		工事延長																				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			年度内に完成した工事の総延長距離数								
					2,770m	2,274m	1,342m	2,000m	2,000m	2,000m	2,000m											
総合戦略	-	-	-	-	実績	4,847m	1,745m	-														
		H27年度				H28年度				その他の指標				-								
個別計画	-	改善目標	多面的機能支払交付事業を活用して, 適正な維持管理を推進していく。				改善目標	多面的機能支払事業を活用して, 適正な維持管理を推進していく。				事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
根拠法令等	土地改良法	事業計画	高田ほか9地区の測量設計 L = 4,904m 栗原ほか5地区の排水路等改修工事 L = 2,274m				事業計画	水堀ほか8地区の測量設計 L = 3,932m 北太田ほか4地区の排水路等改修工事 L = 1,342m				事業費(A)				118,313千円	84,972千円	88,332千円	0千円			
事業分類	A 任意的事業	活動実績	栗原ほか3地区の排水フリューム布設・底版コンクリート打設・横断暗渠改修工事完成 L = 1,745m				上半期活動実績	-				内訳				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託	成果	土砂の堆積及び法面崩壊等がなくなり, 維持管理の軽減と農業経営の安定化を図ることができた。				上半期成果	-				県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	都市化に伴い, 上流部の宅地及び道路等の雨水が流入し, 農業用排水路としての機能に悪影響を及ぼしているため, 排水路を整備することにより, 排水機能の改善と維持管理の軽減を図るため。	課題	農業従事者の高齢化等により, 排水路等の維持管理が行われていない箇所が増えつつある。排水路改修後の維持管理が課題である。				課題	-				地方債				0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	地元要望等を受け, 土地改良事業区域内の排水路について, 三面フリュームによる整備または底版コンクリート打設による改修を行う。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財				0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001 環境性	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている				評価	有効性	-				一般財源				118,313千円	84,972千円	88,332千円	0千円	
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている					効率性	-				人件費(B)				6,143千円	6,130千円	6,130千円		
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-				正職員				従事割合	0.80人	0.80人	0.80人	
										時間外勤務				25.00時間	70.00時間	70.00時間						
										臨時職員等				無	無	無						
										事業コスト(A+B)				124,456千円	91,102千円	94,462千円						
										H29年度当初積算根拠				-								
										H29年度の方向性				-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	07 農業基盤整備促進事業	指標名				指標種別				成果指標				指標の概要			
		工事延長				H26年度				H27年度							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H26年度	H27年度	H28年度	年度内に完成した工事の総延長距離数		
					1,663m	1,122m	1,080m	1,000m	1,000m	1,000m	1,000m						
総合戦略	-	-	-	-	実績	2,000m	832.93m	-									
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標				-			
根拠法令等	農業基盤整備促進事業実施要綱	改善目標	多面的機能支払交付事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業分類	A 任意的事业	事業計画	梶内ほか3地区の排水路整備工事 L=1,122m				事業計画	水堀ほか3地区の排水路整備工事 L = 1,080m				事業費(A)	44,735千円	37,443千円	50,000千円	0千円	
執行体制	一部委託	活動実績	梶内ほか3地区の排水路整備工事 L = 833m				上半期活動実績	-				国庫支出金	22,367千円	18,721千円	25,000千円	0千円	
事業の目的	農業基盤整備地区内の排水路整備により農地の排水不良等を解消し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えるため。	成果	土砂の堆積及び法面崩壊等がなくなり、維持管理の軽減と農業経営の安定化を図ることができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	国庫補助事業(補助率 排水施設50.0%)の導入により農業用排水路の整備を行う。	課題	農業従事者の高齢化等により、排水路等の維持管理が行われていない箇所が増えつつある。排水路改修後の維持管理が課題である。				課題	-				地方債	20,100千円	16,800千円	22,500千円	0千円	
ISO 14001 環境性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	47,792千円	40,549千円	53,106千円	0千円			
		有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				人件費(B)	3,057千円	3,106千円	3,106千円		
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人	
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				時間外勤務	7.00時間	50.00時間	50.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												H29年度当初積算根拠	-				
												事業方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	08 ため池・排水路維持補修事業				指標名	工事箇所数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に補修工事を行った箇所数								
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度							
総合戦略	-	-	-	-	-	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	その他の指標	-							
実績	-	-	-	-	-	20箇所	21箇所	-													
個別計画	-				H27年度				H28年度				事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
根拠法令等	-				改善目標	年次計画により年間あたり20箇所程度補修を行っていく。				改善目標	年次計画により年間あたり20箇所程度補修を行っていく。				事業費(A)	11,328千円	19,837千円	20,000千円	0千円		
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	道路横断コルゲート管布設替等 20か所				事業計画	道路横断コルゲート管布設替等 20か所				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				活動実績	上郷ほか20地区の排水路・ため池の補修工事を実施				上半期活動実績	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	土地改良事業により整備された排水路等の施設は、雨水等の排水機能も担っており、老朽化により緊急性の高い補修箇所が増えている。このような場所を早急に補修することにより、農村環境保全と農村地域の安全を確保するため。				成果	破損もしくは機能の低下した排水路及びため池の補修工事を実施したことにより、農村環境保全と農村地域の安全性を向上することができた。				上半期成果	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	各土地改良区や区会等からの維持・補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から順次補修工事を実施する。				課題	土地改良事業により整備した道路横断管等の構造物が、経年劣化により更新の時期に来ている。計画的な更新が必要である。				課題	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)	3,038千円	3,053千円	3,053千円	臨時職員等	無	無	無	
					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		事業コスト(A+B)	14,366千円	22,890千円	23,053千円	正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		H29年度当初積算根拠	-	-	-	時間外勤務	0.00時間	30.00時間	30.00時間	
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		理由	-	-	-	臨時職員等	無	無	無	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	09 県単ため池整備事業				指標名	整備箇所数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に調査または工事を行ったため池数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度		
実績	-	-	-	-	実績	1箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-			
改善目標					改善目標	多面的機能支払交付事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。						
個別計画					事業計画	寺具弁天池整備工事 かごマット護岸工 L = 210m 沼田堂山池調査設計 北条新池調査設計 若森池調査設計				事業計画	寺具弁天池整備工事 ブロックマット護岸工 L = 157m 堂山池用地測量及び用地買収 若森池用地測量						
根拠法令等	土地改良法				活動実績	寺具弁天池整備工事 ブロックマット護岸工 L = 91.4m 沼田堂山池調査設計 北条新池調査設計				上半期活動実績							
事業分類	A 任意的事業				成果	ため池の整備工事に向けた事前準備を整えることができた。				上半期成果							
執行体制	一部委託				課題	水田の基盤整備が進み、農業用ため池としての役割が薄れたため池が多数存在する。今後の維持管理等の検討が必要である。				課題							
事業の目的	農業用ため池は、築造年代が古いものが多く存在しており、堤体などの老朽化対策を必要とするものが多くなっている。このような中で、浸食等により老朽化した農業用ため池の堤体等を整備することにより、安定した農業用水確保と豪雨等によるため池の被災を防止するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
事業の概要	県補助事業(補助率 排水施設37.5% ため池50.0%)の導入により農業施設の整備を行う。				評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				
ISO 14001 環境関連性					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-				
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-				
													事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
													事業費(A)	1,749千円	6,500千円	35,079千円	0千円
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													県支出金	0千円	3,250千円	14,402千円	0千円
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
													一般財源	1,749千円	3,250千円	20,677千円	0千円
													人件費(B)	1,519千円	2,283千円	2,283千円	
													正職員	従事割合	0.20人	0.30人	0.30人
													正職員	時間外勤務	0.00時間	20.00時間	20.00時間
													臨時職員等	無	無	無	
													事業コスト(A+B)	3,268千円	8,783千円	37,362千円	
													H29年度当初積算根拠				
													H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	10	かんがい排水整備事業償還金補助事務	指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	借入金の償還補助件数	
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	23件	22件	17件	15件	13件	11件	8件				
総合戦略	-	-	-	23件	22件	-								
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市非補助融資事業補助金交付要項		改善目標	借換え効果の高いものから順次借換えを進める。				改善目標	今後も借換え可能な案件については借換えを進め, 市の債務負担を減額する。					
事業分類	E 補助金・負担金事業		事業計画	作谷地区ほか21件について償還補助				事業計画	作谷地区ほか16件について償還補助					
執行体制	補助金(直接)		活動実績	・作谷地区ほか21件について償還補助 ・作谷地区ほか2件について低金利での借換を実施				上半期活動実績	-					
事業の目的	市が実施した排水路整備事業費について, 受益者が融資を受けた借入金に対し, 償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。		成果	・受益者の負担軽減を図ることができた。 ・借換を実施することにより, 市の債務負担を減額することができた。				上半期成果	-					
事業の概要	償還(2年据置き13年償還)については, 平成36年度まで継続する。 債務負担行為設定済		課題	受益者代表が死亡している案件については, 債務減額のための借換えが困難である。				課題	-					
ISO 14001	環境		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
			評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-					
				効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-					
				総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-					
											H29年度当初積算根拠			
											H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	199,049千円	165,301千円	130,544千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	199,049千円	165,301千円	130,544千円	0千円
人件費(B)	380千円	743千円	743千円	
正職員	従事割合	0.05人	0.10人	0.10人
正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	199,429千円	166,044千円	131,287千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	396,208千円	349,903千円	360,797千円	0千円
総人件費	29,355千円	33,520千円	33,629千円	
総事業コスト	425,563千円	383,423千円	394,426千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	11 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 (桜川第1揚水機場)	指標名	工事進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	全体事業の工事費ベ-スの進捗率			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					H30年度	H31年度	H32年度
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	土地改良法	事業計画	H27年度				H28年度						
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	-				-						
執行体制	職員のみ	成果	-				-						
事業の目的	昭和35年に建設された桜川第1揚水機場は、標準耐用年数20年を経過し、ポンプ施設・電気制御施設の老朽化により能力が低下している。本事業を導入し、適切な補修を行い、施設のライフサイクルコストの低減と農業用水の安定供給を図る。	課題	-				-						
事業の概要	桜川第1揚水機場の機能診断を行い、機能保全計画を策したうえで、劣化の状況に応じた適切な対策工事を行い、施設の長寿命化を図る。	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-			
ISO 14001 環境性	-	評価	有効性	-	有効性	-	効率性	-	効率性	-			
			総合評価	-	総合評価	-							
		改善目標		-		改善目標		-		その他の指標		-	
		事業計画		-		事業計画		-		事業実施コスト		H26年度決算 H27年度決算 H28年度当初 H29年度当初	
		活動実績		-		活動実績		-		事業費(A)		千円 0千円 5,592千円 0千円	
		成果		-		成果		-		国庫支出金		千円 0千円 0千円 0千円	
		課題		-		課題		-		県支出金		千円 0千円 0千円 0千円	
		事業の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		地方債		千円 0千円 5,000千円 0千円	
		改善目標		-		改善目標		-		その他特財		千円 0千円 0千円 0千円	
		事業計画		-		事業計画		-		一般財源		千円 0千円 592千円 0千円	
		活動実績		-		活動実績		-		人件費(B)		0千円 0千円 2,229千円	
		成果		-		成果		-		正職員		従事割合 0.00人 0.00人 0.30人	
		課題		-		課題		-		時間外勤務		0.00時間 0.00時間 0.00時間	
		事業の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		臨時職員等		無 無 無	
		改善目標		-		改善目標		-		事業コスト(A+B)		0千円 0千円 7,821千円	
		事業計画		-		事業計画		-		H29年度当初積算根拠		-	
		活動実績		-		活動実績		-		H29年度の方向性		理由 -	
		成果		-		成果		-					
		課題		-		課題		-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	139,980千円	123,097千円	106,568千円	0千円
総人件費	3,797千円	3,714千円	3,714千円	
総事業コスト	143,777千円	126,811千円	110,282千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	12	霞ヶ浦用水建設に要する経費

事務事業名	01 霞ヶ浦用水建設事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	実績	-	-	-	/											
個別計画	-	改善目標	H27年度				H28年度										
根拠法令等	土地改良法	事業計画	畑地への給水について、畑かん営農講演会や現地講習会等を開催し、関係者へ普及PRを行う。				事業計画 ・下手支線用水路工事 L=500m ・霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 ・畑地かんがい営農講演会、現地研修会の実施										
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	・霞ヶ浦用水土地改良区総代総選挙を実施し、つくば市選挙区で21名の総代を決定 ・関係農家へ霞ヶ浦用水広報誌を配布 ・畑かん現地研修会、畑かん営農講演会を実施				上半期活動実績										
執行体制	補助金(直接)	成果	平成27年度現在、つくば市内の水田1,685.8ha(82.4%)、畑13.5ha(1.3%)合計1699.3ha(54.7%)に通水し、安定した農業用水の確保が図られた。				上半期成果										
事業の目的	霞ヶ浦から用水を取水し、県西南部13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、豊かな地域づくりを推進するとともに、農業基盤の充実を図るため。	課題	畑地のかんがい営農が進まず、通水率が受益地の1.3%である。				課題										
事業の概要	13市町の水田10,919ha・畑地及び樹園地8,375haの農地に最大17.8m ³ /secの農業用水を供給する。つくば市の受益面積は、水田2,045ha、畑1,061haである。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-							
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-									
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
			総合評価	A: 成果を維持して継続実施			総合評価	-									
												事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
												事業費(A)	139,980千円	123,097千円	106,568千円	0千円	
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												地方債	1,600千円	1,100千円	1,400千円	0千円	
												その他特財	3,395千円	2,493千円	901千円	0千円	
												一般財源	134,985千円	119,504千円	104,267千円	0千円	
												人件費(B)	3,797千円	3,714千円	3,714千円		
												正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	143,777千円	126,811千円	110,282千円		
												H29年度当初積算根拠	-				
												H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	80,963千円	173,533千円	186,582千円	0千円
総人件費	17,097千円	14,156千円	14,182千円	
総事業コスト	98,060千円	187,689千円	200,764千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係, 工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	01	国営造成施設管理体制整備促進事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-				
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	-	H27年度				H28年度					
根拠法令等	土地改良法, 国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱, つくば市国営造成施設管理体制整備促進事業補助金交付要項		改善目標	管理支援事業については, 26年度までであったが, 29年度まで延長する。				改善目標	多面的機能支払事業で位置づけた土地改良施設との管理区分を明確にするよう, 関係土地改良区を指導する。			
事業分類	E 補助金・負担金事業		事業計画	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を策定する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また, 支援事業としてつくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区へ管理体制の整備に要する経費を補助し, 体制を構築する。				事業計画	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を策定する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また, 支援事業としてつくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区へ管理体制の整備に要する経費を補助し, 体制を構築する。			
執行体制	補助金(直接)		活動実績	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を策定した。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施した。また, 支援事業としてつくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区へ管理体制の整備に要する経費を補助し, 体制の構築を図った。				上半期活動実績	-			
事業の目的	農業水利施設の持つ多面的機能の発揮等について適切な取り組みを推進する観点から, 国・県・市が連携して土地改良区へ補助・指導を実施し, 管理体制の整備を図るため。		成果	農業水利施設の持つ多面的機能の発揮について, つくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区で, 地域の自治会とともに草刈りや浚渫等を実施し, 関係施設や地域資源を適正管理することができた。				上半期成果	-			
事業の概要	・計画策定事業: 土地改良区の管理体制構築に 取り組み, 管理水準及び体制等について計画を策定する。 ・推進事業: 計画に基づき, 関係団体との協議調整及び組合員・地域住民への啓発普及と連携強化活動を実施する。 ・支援事業: 国営造成施設(霞ヶ浦用水)及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。		課題	多面的機能支払事業で位置づけた土地改良施設との管理区分を明確にすることが必要				課題	-			
ISO 14001 関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-	
評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-	-	有効性	-	-	-		
	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している		効率性	-	-	効率性	-	-	-		
	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-	-	総合評価	-	-	-		
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
事業費(A)	33,455千円	37,006千円	38,627千円	0千円	事業費(A)	33,455千円	37,006千円	38,627千円	0千円			
国庫支出金	15,986千円	17,755千円	0千円	0千円	国庫支出金	15,986千円	17,755千円	0千円	0千円			
県支出金	6,394千円	7,102千円	25,998千円	0千円	県支出金	6,394千円	7,102千円	25,998千円	0千円			
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
一般財源	11,075千円	12,149千円	12,629千円	0千円	一般財源	11,075千円	12,149千円	12,629千円	0千円			
人件費(B)	3,928千円	2,358千円	2,358千円		人件費(B)	3,928千円	2,358千円	2,358千円				
正職員	従事割合	0.50人	0.30人	0.30人	正職員	従事割合	0.50人	0.30人	0.30人			
時間外勤務	48.00時間	48.00時間	48.00時間		時間外勤務	48.00時間	48.00時間	48.00時間				
臨時職員等	無	無	無		臨時職員等	無	無	無				
事業コスト(A+B)	37,383千円	39,364千円	40,985千円		事業コスト(A+B)	37,383千円	39,364千円	40,985千円				
H29年度当初積算根拠	-											
H29年度の方向性	-	理由	-	-	H29年度の方向性	-	理由	-	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	80,963千円	173,533千円	186,582千円	0千円
総人件費	17,097千円	14,156千円	14,182千円	
総事業コスト	98,060千円	187,689千円	200,764千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係, 工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	02 土地改良区工事補助事業				指標名	補助件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	土地改良区等に対する工事補助件数				
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標							
- - - -				14件	14件	14件	14件	14件	14件	14件	14件	-								
- - - -				実績	16件	16件	-	/				-								
総合戦略				H27年度				H28年度				-								
- - - -				改善目標	-				補助予定箇所について, 前年度に土地改良区と調整する。											
個別計画				-				-												
根拠法令等				土地改良法, つくば市土地改良事業補助金交付要項				事業計画				補助金交付件数 土地改良施設維持管理適正化事業 3件 県単土地改良事業 9件 農業基盤整備促進事業 2件				内訳				
事業分類				E 補助金・負担金事業				活動実績				補助金交付件数 土地改良施設維持管理適正化事業 4件 県単土地改良事業 10件 農業基盤整備促進事業 2件				事業実施コスト				
執行体制				補助金(直接)				成果				農業生産基盤の整備・改修に対する補助を実施することにより, 農家負担の軽減と安定した農業生産が可能となった。				事業費(A)				
事業の目的				土地改良区が事業主体で実施する土地改良施設の整備補修に対する補助を行うことにより, 農業生産基盤の確立と農業生産性の向上を図るため。				課題				市で補修工事を実施する箇所との調整が必要				国庫支出金				
事業の概要				土地改良区が農業用施設の維持管理のため実施する各事業に対して予算の範囲内で補助する。 維持管理適正化事業: 事業費×15% 県単土地改良事業: 事業費×30% 農業基盤整備促進事業: 事業費×10%				事業の進捗状況				達成				県支出金				
ISO 14001 環境性				評価				有効性				高: 成果が向上(高水準を維持)している				地方債				
								効率性				中: 適切な費用対効果が得られている				その他特財				
								総合評価				A: 成果を維持して継続実施				一般財源				
								事業の進捗状況				-				人件費(B)				
								事業の進捗状況				-				正職員				
																従事割合				
																時間外勤務				
																45.00時間				
																臨時職員等				
																無				
																事業コスト(A+B)				
																22,272千円				
																26,025千円				
																21,944千円				
																H29年度当初積算根拠				
																-				
																H29年度の方向性				
																理由				
																-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	80,963千円	173,533千円	186,582千円	0千円
総人件費	17,097千円	14,156千円	14,182千円	
総事業コスト	98,060千円	187,689千円	200,764千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係, 工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	03	多面的機能支払事業	指標名	認定面積				指標種別	活動結果指標			指標の概要	活動組織の事業計画について, 市が認定した総面積					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	-	1700ha	2000ha	2200ha	2250ha	2300ha	2300ha	2300ha								
総合戦略	-	-	-	実績	1746ha	2202ha	-											
個別計画	-			H27年度				H28年度				その他の指標	-					
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律, 多面的機能支払交付金実施要綱, つくば市多面的機能支払交付金の交付に関する要綱		改善目標	-				改善目標	新規活動組織については, 多面的機能支払事業研修会への積極的な参加を進める。									
事業分類	E	補助金・負担金事業	事業計画	作谷地区ほか26活動組織 対象面積 支援交付金 市負担金 田 1,853.95ha 90,849,180円 22,712,295円 畑 380.01ha 12,251,292円 3,062,823円 計 2,233.96ha 103,100,472円 25,775,118円				事業計画	作谷地区ほか30組織に対し, 約2,241ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付									
執行体制	補助金(直接)		活動実績	作谷地区ほか27組織に対し, 約2,202ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付した。				上半期活動実績	-				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業の目的	農業者や地域住民共同による農地・農業用施設等の資源の保全活動やその一環として行う農村環境保全活動について支援するため。		成果	農業・農村の持つ多面的機能の維持発揮を図るための支援を行うことにより, 地域資源の適切な保全管理を促進することができた。				上半期成果	-				事業費(A)	20,658千円	104,554千円	119,623千円	0千円	
事業の概要	活動組織は5年間の事業計画を作成し, 市の認定を受けたうえで活動を実施する。市は活動組織に対し, 農用地の面積に応じて交付金を交付する。 交付額: 農地維持(田 = 3,000円/10a 畑 = 2,000円/10a)・資源向上(田 = 2,400円/10a 畑 = 1,440円/10a) 負担割合: 国50% 県25% 市25%		課題	新規活動組織に対して, 国の要綱・要領に基づいた活動についての指導が必要				課題	-				国庫支出金	0千円	53,329千円	60,371千円	0千円	
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			県支出金	0千円	25,612千円	29,626千円	0千円	
環境	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
関連性	-	-		効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
				総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-				一般財源	20,658千円	25,613千円	29,626千円	0千円	
													人件費(B)	6,970千円	6,847千円	6,873千円		
													正職員	従事割合	0.90人	0.90人	0.90人	
													時間外勤務	50.00時間	60.00時間	70.00時間		
													臨時職員等	無	無	無		
													事業コスト(A+B)	27,628千円	111,401千円	126,496千円		
													H29年度当初積算根拠	-				
													H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	80,963千円	173,533千円	186,582千円	0千円
総人件費	17,097千円	14,156千円	14,182千円	
総事業コスト	98,060千円	187,689千円	200,764千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係, 工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	04	土地改良施設管理支援事業	指標名	-				指標種別	-									
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-						
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	/	/	/	/	その他の指標	-						
個別計画	-	-	H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
根拠法令等	-	-	改善目標	-				改善目標	多面的機能支払事業を活用して, 適正な維持管理を推進していく。				事業費(A)	1,909千円	2,928千円	2,611千円	0千円	
事業分類	F	施設等維持管理事業	事業計画	・北条地区排水路清掃 L = 150m ・寺池ほか3か所の維持管理 (除草・樹木伐採等)				事業計画	・北条地区排水路清掃 L = 150m ・寺池ほか3か所の維持管理 (除草・樹木伐採等)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託		活動実績	ため池維持管理委託: 寺池ほか2か所(除草及び剪定) 排水路維持管理委託: 北条地内排水路(浚渫)				上半期活動実績	-				内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	農業用としてだけでなく一般にも供用されている土地改良施設の管理の一部を市が担い, 施設の機能を良好な状態に維持するため。		成果	ため池の除草等, 土地改良施設の維持管理業務を実施することにより, 施設を利用する上での機能向上や良好な状態を維持することができた。				上半期成果	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	ため池の除草や用水路の浚渫を実施することで, これらの農業用施設の機能維持と適正な管理を図る。		課題	農業従事者の高齢化等により, ため池等の維持管理が行われていない箇所が増えつつある。今後の維持管理等の検討が必要である。				課題	-				一般財源	1,909千円	2,928千円	2,611千円	0千円	
ISO 14001 環境性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		人件費(B)	1,519千円	1,115千円	1,115千円	/	
評価	有効性	中: 適切な成果が得られている	評価	有効性	-		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.20人	0.15人	0.15人	/		
	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-			効率性	-		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	/			
	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			総合評価	-		臨時職員等	無	無	無	/			
											事業コスト(A+B)	3,428千円	4,043千円	3,726千円	/			
											H29年度当初積算根拠	-						
											H29年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	80,963千円	173,533千円	186,582千円	0千円
総人件費	17,097千円	14,156千円	14,182千円	
総事業コスト	98,060千円	187,689千円	200,764千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係, 工務第一係, 工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	05 湛水防除施設維持管理事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	実績	-	-	-											
個別計画	-	改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標	-				
根拠法令等	-	事業計画	鍋沼地区排水機場, 山下地区排水機場, 新治地区, 桜川地区, 川口地区				鍋沼地区排水機場, 山下地区排水機場, 新治地区, 桜川地区, 川口地区				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	許可工作物履行検査の実施(山下地区, 鍋沼地区), 湛水防除施設運営協議会(新治地区, 桜川地区), 川口排水機場負担金, 山下排水機場への忍び返しの設置				上半期活動実績				事業費(A)	5,830千円	5,370千円	6,127千円	0千円	
執行体制	職員のみ	成果	湛水被害を未然に防止して, 農業生産の維持及び農業経営の安定化が図られた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	土地改良事業により造成された排水施設を適正に管理することにより, 湛水被害を未然に防止して, 農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るため。	課題	排水機場の維持管理に伴い, 年次改修計画を把握しておく必要がある。				課題				県支出金	171千円	173千円	173千円	0千円	
事業の概要	河川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期(4月～9月)に機械排水を行うとともに施設の維持管理をおこなう。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	5,659千円	5,197千円	5,954千円	0千円	
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	1,519千円	1,486千円	1,486千円		
										正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人		
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
										臨時職員等	無	無	無			
										事業コスト(A+B)	7,349千円	6,856千円	7,613千円			
										H29年度当初積算根拠	-					
										H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	197,990千円	192,820千円	173,840千円	0千円
総人件費	9,534千円	9,528千円	9,528千円	
総事業コスト	207,524千円	202,348千円	183,368千円	

事務事業名	01	一般単独農道整備事業	指標名	工事延長				指標種別	活動結果指標		指標の概要	年度内に完成した工事の総延長距離数
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	2,438m	2,500m	2,735m	2,500m	2,500m	2,500m	2,500m	
総合戦略	-	-	-	-	実績	2,659m	2,929m	-				
					H27年度				H28年度			
個別計画	-		改善目標	年次計画を策定し、地元要望等を勘案しながら農道舗装を進める。				改善目標	年次計画を策定し、地元要望等を勘案しながら農道舗装を進める。			
			事業計画	遠東ほか9地区の測量設計 L = 3,056m 遠東ほか7地区の農道舗装工事 L = 2,427m				事業計画	酒丸ほか6地区の測量設計 L = 2,921m 酒丸ほか5地区の農道舗装工事 L = 2,735m			
根拠法令等	土地改良法		活動実績	遠東ほか8地区の舗装工事を実施 L = 2,929m				上半期活動実績	-			
事業分類	A 任意的事業		成果	農道舗装により農作物の荷崩れを防止し、輸送の円滑化が図れた。また、農村の生活道路が整備されたことにより、農村地域の生活環境が向上した。				上半期成果	-			
執行体制	一部委託		課題	平成26年度で遠東地区の畑総事業が終了したため、基盤整備事業区域内の未舗装農道延長が3.5km程度増加した。優先順位をつけながら計画的な施工が必要である。				課題	-			
事業の目的	土地改良事業区域内の未舗装農道を整備することにより、農作物の荷崩れや砂塵による減産防止を図るとともに輸送の円滑化を促進し、農業経営の安定化と農村環境の改善を図るため。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	
			事業の概要	土地改良区や区会等からの農道舗装や砕石敷等の要望を受け、公共性や費用対効果の高い箇所から、年次計画により整備を行う。								
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	理由
			評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-			
			評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	108,604千円	119,539千円	116,589千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	108,604千円	119,539千円	116,589千円	0千円
人件費(B)	6,875千円	6,873千円	6,873千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.90人	0.90人	0.90人
正職員	時間外勤務	15.00時間	70.00時間	70.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	115,479千円	126,412千円	123,462千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	197,990千円	192,820千円	173,840千円	0千円
総人件費	9,534千円	9,528千円	9,528千円	
総事業コスト	207,524千円	202,348千円	183,368千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	02	つくば下総広域農道整備事業	指標名	事業進捗率				指標種別	活動結果指標			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	工事費ベースの進捗率
戦略プラン	-	-	-	97%	98%	99%	100%	100%	100%	100%		
総合戦略	-	-	-	97%	98%	-						
個別計画	-											
根拠法令等	土地改良法		事業計画	道路改良工 L = 820m, 道路舗装工 L = 1,100m, 用地買収一式, 付帯工一式				事業計画	道路改良工 L = 220m, 道路舗装工 L = 160m, 用地買収一式, 付帯工一式			
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	道路改良工 L = 489m, 道路舗装工 L=945m 用地買収一式, 付帯工一式				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ		成果	一部を残し供用開始しており, 農産物輸送の効率化が図られた。				上半期成果	-			
事業の目的	つくば市ほか7市町の営農団地と消費地を結ぶ広域基幹農道を整備することにより, 農産物の集出荷体制を確立し, 市場競争力を高めるため。		課題	地権者に対して, 十分な理解を得ながら進めていく必要がある。				課題	-			
事業の概要	事業主体: 茨城県・市町 起点: 坂東市借宿 ~ 終点: 土浦市小野, 農道整備 L=17,577m つくば市区間 L=5,200m 全体予定事業費 14,386,297千円 負担区分(つくば市23.8%)		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
			評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-			
			評価	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			
											H29年度当初積算根拠	
											H29年度の方向性	理由

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	6,345千円	3,370千円	3,714千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	2,500千円	3,000千円	1,200千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	3,845千円	370千円	2,514千円	0千円
人件費(B)	760千円	372千円	372千円	
内訳				
正職員				
従事割合	0.10人	0.05人	0.05人	
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
臨時職員等	無	無	無	
事業コスト(A+B)	7,105千円	3,742千円	4,086千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	197,990千円	192,820千円	173,840千円	0千円
総人件費	9,534千円	9,528千円	9,528千円	
総事業コスト	207,524千円	202,348千円	183,368千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	03 農道維持補修事業	指標名	工事箇所数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	年度内に補修工事を行った箇所数					
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所								
総合戦略	-	-	9箇所	5箇所	-												
個別計画	-																
根拠法令等	土地改良法																
事業分類	F 施設等維持管理事業																
執行体制	職員のみ																
事業の目的	土地改良事業区域内の農道で老朽化等により損傷した道路を維持補修することにより、農村環境保全と農村地域の安全を確保するため。	改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標	-					
事業の概要	各土地改良区や区会等から農道の維持補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から優先的に補修工事を実施する。	事業計画	緊急性の高い箇所から計画的に補修				緊急性の高い箇所から計画的に補修				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
		活動実績	維持補修工：洞下地区ほか4件				上半期活動実績				事業費(A)	2,128千円	5,750千円	4,849千円	0千円		
		成果	損傷の見られる農道の維持補修を実施することで、通行の際の安全性の確保と事故の未然防止をすることができた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		課題	要望箇所が多く、計画的進めることが困難である。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	環境	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性				一般財源	2,128千円	5,750千円	4,849千円	0千円	
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				人件費(B)	1,519千円	1,540千円	1,540千円		
												正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
												時間外勤務	0.00時間	20.00時間	20.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	3,647千円	7,290千円	6,389千円		
												H29年度当初積算根拠	-				
												H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	197,990千円	192,820千円	173,840千円	0千円
総人件費	9,534千円	9,528千円	9,528千円	
総事業コスト	207,524千円	202,348千円	183,368千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	04 農道整備事業償還金補助事務	指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	借入金の償還補助件数					
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	16件	14件	11件	9件	7件	5件	3件						
総合戦略	-	-	16件	14件	-										
個別計画	-														
根拠法令等	つくば市非補助融資事業補助金交付要項	事業計画	H27年度 借換え効果の高いものから順次借換えを進める。				H28年度 今後も借換え可能な案件については借換えを進め、市の債務負担を減額する。				その他の指標	-			
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	吉沼地区ほか13件について償還補助を実施				吉沼地区ほか10件について償還補助				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
執行体制	補助金(直接)	成果	・吉沼地区ほか13件について償還補助 ・吉沼地区ほか4件について低金利での借換えを実施				・吉沼地区ほか10件について償還補助				事業費(A)	80,913千円	64,161千円	48,688千円	0千円
事業の目的	市が実施した農道整備事業費について、受益者が融資を受けた借入金に対し、償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。	課題	・受益者の負担軽減を図ることができた。 ・借換えを実施することにより、市の債務負担を減額することができた。				・受益者の負担軽減を図ることができた。 ・借換えを実施することにより、市の債務負担を減額することができた。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	償還(2年据置き13年償還)については、平成34年度まで継続する。 債務負担行為設定済	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
			効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
			総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-	一般財源	80,913千円	64,161千円	48,688千円	0千円	0千円	
									人件費(B)	380千円	743千円	743千円			
									正職員	0.05人	0.10人	0.10人			
									時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
									臨時職員等	無	無	無			
									事業コスト(A+B)	81,293千円	64,904千円	49,431千円			
									H29年度当初積算根拠	-	-	-	-		
									H29年度の方向性	-	理由	-	-		